

室内用

電 波 時 計

(置時計)

もくじ

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください	2
2. 電波時計について	3
■ 電波時計とは	
■ 標準電波とは	
■ 電波の受信範囲について	
■ 標準電波の送信停止について	
■ 海外でのご使用について	
電波を受信しにくい環境	
3. 各部の名称と役割	4
4. ご使用方法	5
5. 標準電波を受信できない場合	7
手動での時刻合わせ	
6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	8
7. 電池の交換時期お知らせ機能について	9
■電池の種類について	
■電池の寿命について	
8. お手入れについて	10
9. 電池・製品の廃棄について	10
10. おもな製品仕様	11
11. アフターサービスについて	12
お問い合わせ先	
メロディを試聴するには	5
設置について	5
標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた	6
明暗センサーのはたらき	6
静電気による誤作動について	6
外観について	6

付属品 お試し用電池 2個、保証書 1枚、取扱説明書 本書

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ 禁止（してはいけないこと）を示しています。

❗ 指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

⊘ 禁止 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

⊘ 禁止 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

⊘ 禁止 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

⊘ 禁止 ぬれた手で触らない
さびや故障の原因になります。

⊘ 分解禁止 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

⊘ 禁止 シンナーやベンゼン、アルコールなどの有機溶剤または有機溶剤を含むスプレーを付けない
溶解、変色、表面のくもりなどの原因になります。

⊘ 禁止 下記のような場所では使わない。
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

2. 電波時計について

■ 電波時計とは

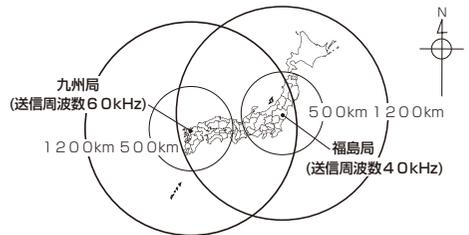
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

■ 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

■ 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



福島局と九州局の標準電波を自動選択して受信します。

■ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

■ 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

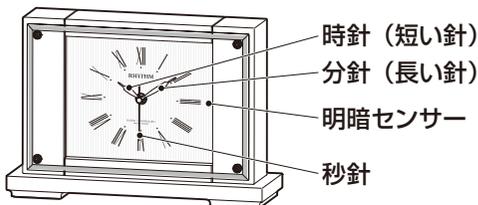
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



3. 各部の名称と役割

●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)

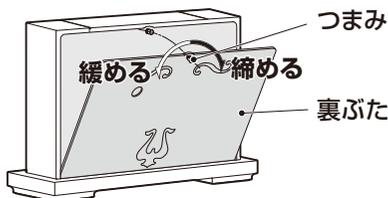


操作するときは裏ぶたを取り外してください。

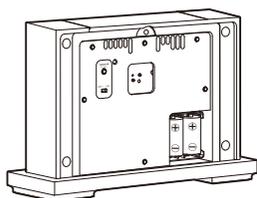
取る：ねじを緩めてつまみを手前に引く

取り付ける：裏ぶた下部を時計本体の溝に挿し込み、裏ぶたを閉じてねじを締める

(裏面)



(裏ぶたを取り外した状態)



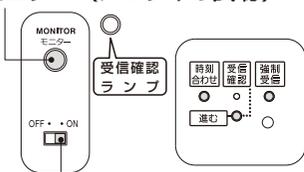
電池の着脱



単2形アルカリ乾電池を2個入れる

注意 電池の \oplus \ominus を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因になります。

モニター (メロディの試聴)



メロディスイッチ

操作部の機能

強制受信 …… 電池を入れた直後に押します。受信機能をONにして、受信を開始します。

時刻合わせ …… 約2秒間押し続けると**手動時刻合わせの状態**になります。時刻を合わせ終わったときに押すと、通常の時刻表示になります。

進む …… **手動時刻合わせ状態**のときに、押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

受信確認 …… 受信結果を確認するときに押します。結果は受信確認ランプの点灯、点滅でお知らせします。

受信確認ランプ …… 受信の状態や受信結果を点灯、点滅、消灯でお知らせします。

進む と **受信確認** は同じボタンです。時計の状態により機能が変わります。

針の動き……**通常の時刻表示**

時針・分針：10秒に1回動きます。

秒針：連続して動きます。

※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動したり、停止することがあります。

※秒針は早送りしません。

強制受信 を押したときは、針が12時に移動して受信が終わるまで停止します。

自動受信するときは秒針が12時位置に止まり、受信が終わると動きだします。

4. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は **手動での時刻合わせ** (P.7) を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

① 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単2形アルカリ乾電池を入れる

② **強制受信** を押す

針は12時に移動して停止します。受信が終わると針が動き出します。

※電池を入れた後は必ず **強制受信** を押してください。

※早送りの途中で針が一時停止することがあります。

※受信中はボタン操作をしないでください。

③ 16分待って **受信確認 を押して受信結果を確認する**

受信確認 を押してすぐに離すと**受信確認ランプ**で受信結果をお知らせします。

5秒間点灯：受信成功（正しい時刻）

5回点滅：受信失敗（不正確な時刻）☞ **「5. 標準電波を受信できない場合」(P.7)**

(2回点滅：受信機能がOFF) ※(P.8)参照

消灯したまま：受信状態

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて **強制受信** を押してください。

※受信結果は25時間以内の受信結果を表示します。

④ メロディスイッチのON/OFFを設定する

ON：毎正時にメロディを奏でます。 OFF：鳴りません。

※明暗センサーと連動して、暗くなるとメロディが鳴らなくなります。

※音量を調節することはできません。

メロディを試聴するには

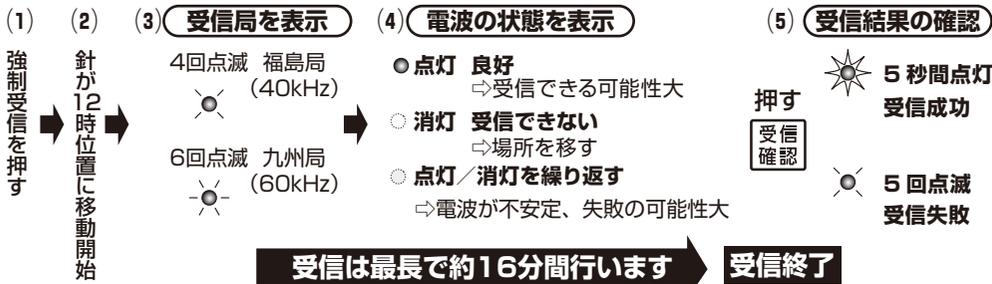
モニターを押すとメロディを奏でます。メロディは途中で止めることはできません。

設置について

時計の転倒や落下を防ぐために、水平で振動が少ない安定した所に置いてください。

大理石を使用しているものは重量がありますので、お取り扱いにはご注意ください。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……………電波を受信しやすい所を探すには

- ①窓際やベランダで(4)まで行き、受信確認ランプが点灯していることを確認します。
受信確認ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- ②時計を設置場所に移動して、受信確認ランプで受信状態を見ます。
消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

明暗センサーのはたらき……………暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止します。また、メロディスイッチがONのときでも毎正時のメロディが鳴らなくなります。
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。
明るくなって秒針が動き出すまでに最長で1分程度かかる場合があります。

静電気による誤作動について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。
このようなときは **強制受信** を押してください。

外觀について

- 木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが個々の商品ごとに異なることがあります。
- 経年変化により色合いや艶が変化することがあります。

5. 標準電波を受信できない場合

●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにしてから^{強制}受信を押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

操作 *通常の針の動きのときに操作してください。

① ^{時刻}合わせ を2秒間押し続ける

手動時刻合わせの状態になると、分針が1〜2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。**この状態になってから時刻を合わせます。**

※秒針が動いている間でも、^{進む}を押して時刻を合わせることにはできますが、秒針が動いている間は、手動時刻合わせの状態を終了できません。

② ^{進む}を押して時刻を合わせる

押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

③ ^{時刻}合わせ を押して手動時刻合わせを終わらせる

針が動き時を刻み始めます。

○手動時刻合わせの状態のまま4分間ボタン操作をしないと、通常の時刻表示に戻ります。

○^{強制}受信を押すと手動時刻合わせを終わらせて受信を開始します。

○電波受信機能がONのときは、手動で時刻を合わせても受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

受信機能ON：定期的に受信を行い、受信に成功したときに時刻の修正を行う。

受信機能OFF：電波を受信しない。必要に応じて手動で時刻を修正してください。

操作 *通常の針の動きのときに操作してください。

時刻合わせ と **進む** の2つのボタンを**同時に5秒間押し続ける**と電波受信機能のONとOFFが切り替わります。

ONのときに押すとOFFに、OFFのときに押すとONになります。

電波受信機能が切り替わると受信確認ランプの点滅回数でお知らせします。

ON状態になったとき : 5回点滅

OFF状態になったとき : 2回点滅

OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。

※受信状態のときに上記の操作をすると受信を中止します。このとき電波受信機能の設定は変わりません。

7. 電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、明るい所でも秒針が12時位置に停止します。また、電波の受信と時報機能も停止します。

時計と分針は、このような状態になってから1ヵ月程度動き続けます。

※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るい所でも秒針が停止します。

⚠ 注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池の液漏れにより、時計の修理や家具の修繕などに費用が発生することがあります。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
報時をまったく使わないときの電池交換の目安は5年です。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。



■ 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度など使用条件により、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

8. お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

9. 電池・製品の廃棄について

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 廃棄するときは電池と本体を分別してください。

10. おもな製品仕様

時 間 精 度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時針・分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差 ±20秒*1
使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V 2個
電池寿命	約2年 電波の受信に成功して、1日当たり17回報時したとき
標準電波	標準電波を受信して時刻を修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信回数	最少 1回/日、最多 6回/日 *受信状態により変化
受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の15分59秒
受信機能	ボタン操作でON/OFF切り替え
手動時刻合わせ	ボタン操作
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して停止
電池の交換時期お知らせ機能	秒針が12時位置に停止
報時機能	毎正時にメロディを奏でる
報時精度	表示時刻に対して±1秒*2
音源	23弁シリンダーオルゴール 曲名 カノン
暗所自動鳴り止め	明暗センサーと連動して停止
防塵防滴	なし

*1 温度が5~35℃のときのクォーツ精度

*2 モーターが回転を開始するタイミングです。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

11. アフターサービスについて

この製品のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RN400」をお伝えください。

(フリーダイヤル)

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

R198-HXXY

(Y1604)